

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主所属・課(室)長名	産業労働部 新産業推進課	原田 啓輔
施策名	2 スタートアップの創出	事業群関係課(室)		
事業群名	① スタートアップによる新サービスの創出	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	88,424

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)

スタートアップの集積には、県内外の大学、金融機関、創業意欲のある学生や様々な分野の社会人などが交流することが必要です。そのため、都市部企業等との新たなビジネスモデルを生み出す取組やセミナーなどで機運を高めるほか、異業種の交流を進めることで新サービスの創出に繋がっていきます。

(取組項目)

i) 県内におけるスタートアップ創出の支援
ii) 県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致

事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) スタートアップの集積を図るため、交流拠点C0-DEJIMAを中心に、起業相談やセミナー、交流会など各種イベントの開催、県内コミュニティへのサポート等により、県内における新たなビジネスの創出を支援した。 さらに、投資家とスタートアップ等とのマッチングイベントを県内で開催し、スタートアップの資金調達の支援や市町等と連携した起業の機運醸成に取り組んだほか、東京や福岡など都市部でのイベント開催を通じて県外からのスタートアップの呼び込み等に努めた結果、首都圏のスタートアップによる県内拠点の新設や学生による起業など、スタートアップの創出や誘致につながった。 引き続きスタートアップの創出・誘致に向けた支援の強化を図るとともに、創出後の成長を目指した大企業との取引マッチング支援などにも新たに取り組む。
	スタートアップの創出・誘致件数(累計)	目標値①		3件	6件	21件	29件	37件	37件(R7)	
		実績値②	—	5件	13件	24件	33件		進捗状況	
		達成率②/①		166%	216%	114%	113%		順調	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和６年度事業内容及び実施状況 （令和７年度新規・補正事業は事業内容）	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和６年度事業の成果等
				R5実績	うち 一般財源	人件費 （参考）		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 （公共、研究 等）			
所管課（室）名			事業対象									
取組項目 ii	○	1	創業・起業支援事業費	33,227	28,967	7,659	●事業内容 スタートアップ交流拠点CO-DEJIMAにおいて、起業相談や交流会等の実施を通じて、長崎でチャレンジしたい人が挑戦できる環境づくりを進め、スタートアップの創出を促進した。 ●実施状況 CO-DEJIMAにおいて、スタートアップ関連イベントを146回、起業相談を56回開催するなどの支援を実施した。	【活動指標】 出島スタートアップ拠点の利用者数（人）	13,000	3,766	28%	●事業の成果 ・CO-DEJIMAにおいて146回のイベント開催等を行った結果、合計9社のスタートアップの創出や誘致を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・起業に関心のある方を対象に、起業相談や交流会等の実施を通じて、スタートアップ創出の目標達成に寄与した。
				22,624	12,967	3,942			4,500	3,586	79%	
				24,863	15,206	1,575			4,500			
								【成果指標】 R5：出島交流会館に集積したスタートアップ企業（社）	3	3	100%	
			R2-					【成果指標】 R6：スタートアップの創出・誘致件数	8	9	112%	
			新産業推進課	—	—	—		新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	8			

取組項目 ii	○	2	ミライ企業Nagasaki推進事業	11,040	11,040	3,064	●事業内容 スタートアップ等の資金調達の支援及び市町等と連携した県内における起業の機運醸成のため、「ミライ企業Nagasaki」を開催する。 ●実施状況 チャレンジ部門登壇の9者に対して事業計画のブラッシュアップを支援し、そのうち2者に対しては事業化に要する費用を支援した。スタートアップ部門登壇の6社に対しては、投資家からの助言等の機会や資金調達に向けた協議の場を提供した。	【活動指標】 マッチングイベントの参加者数（社・者）	10	13	130%	●事業の成果 ・投資家と県内スタートアップのマッチングの機会を提供することで、計5件の資金調達につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・マッチングイベント参加企業等の事業計画のブラッシュアップ等の支援により、スタートアップ9社の創出や誘致に繋がった。
				11,046	7,524	3,153			10	15	150%	
			(R6終了)R4-6	—			新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	【成果指標】	8	11	137%	
			新産業推進課	—	—	—			8	9	112%	
	○	3	ミライ企業Nagasaki推進事業				●事業内容 スタートアップの資金調達や起業の機運醸成を目指すイベント「ミライ企業Nagasaki」を開催するとともに、登壇者の更なるレベルアップを図るため、県内全域でスタートアップの創出を促進する。	【活動指標】 県内全域でのワークショップの開催（回）				—
				17,639	10,894	8,665			8			
				—								
			(R7新規)R7-9	—			新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	【成果指標】 投資家から出資を受けた登壇企業数（件）（累計）				
			新産業推進課	—	—	—			1			
	○	4	スタートアップ・クロステック推進事業	25,412	13,762	3,064	●事業内容 都市部での交流イベント等を通して、本県にゆかりのある起業家や都市部スタートアップ等を県内に呼び込むとともに、交流拠点「CO-DEJIMA」等と県外コミュニティとの連携強化に取り組むことで、新たなビジネスの創出に向けた土壌を創出する。 ●実施状況 東京にある日本最大級のスタートアップ集積拠点での交流イベントや福岡での九州最大級のスタートアップイベントにおいて、合計6社の本県スタートアップによるプレゼンを行うとともに、県内においても、スタートアップへの興味喚起イベントを開催することで、県内外に向け、本県の事業環境PRに取り組んだ。	【活動指標】 県外コミュニティ等の訪問件数（件）（累計）	13	20	153%	●事業の成果 ・スタートアップの呼び込みイベントを東京など県外で2回開催したことに加え、県外のコミュニティとの関係構築や県内でのスタートアップへの興味喚起イベント開催により、計552名が参加し、県外スタートアップが、本県との関わりを持つ契機となった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・CO-DEJIMAと首都圏など県外コミュニティの連携が強化されたことで、県内に新たに拠点を設けるスタートアップが出てくるなど、県内におけるスタートアップ集積の目標達成に寄与した。
				25,311	13,111	3,153			26	34	130%	
				—				【活動指標】 県外スタートアップ等との交流イベントの実施件数（件）	3	3	100%	
				—					3	3	100%	
				—				【成果指標】 県内・県外コミュニティ等のマッチング件数（件）（累計）	7	21	300%	
				—					14	28	200%	
			(R6終了)R5-6	—			【成果指標】 県外スタートアップ等の県内活動件数（件）（累計）	5	10	200%		
			新産業推進課	—	—	—		10	15	150%		
			○	5	上場チャレンジステップアッププロジェクト事業				●事業内容 上場企業の早期輩出等を図り、若者の雇用の場の創出等の経済活性化につなげるため、経営管理のあり方など必要なノウハウを学びあう場の提供や専門家による集中指導等を実施する。 ●実施状況 上場に関心がある県内企業を対象とした勉強会を開催したほか、その中でも特に上場への意欲が高い企業に対しては、専門家による集中指導を実施した。	【活動指標】 専門家活用企業数（社）（延べ）		
	13,096	6,605				3,112	3	3			100%	
	(R6終了)R6	—			上場企業の輩出（社）							
	新産業推進課	—				—	—	—	1	—		

取組項目 ii	○	6	スタートアップ首都圏 チャレンジ事業	18,787	9,519	7,090	—	●事業内容 首都圏の投資家等との連携を強化し、プッシュ型でのスタートアップの呼び込みを推進するとともに、県内スタートアップを対象に首都圏大企業等との取引拡大を支援	【活動指標】				—
									連携拠点数（件）	3			
									【活動指標】				
									首都圏でのマッチングイベント参加スタートアップ数(社)	5			
取組項目 ii	○	7	大学連携新産業創造拠点整備事業	17,999	12,178	3,064	—	●事業内容 大学連携型起業家育成施設を活用した起業の促進と成長支援及び新産業の創出に取り組む。 ●実施内容 大学連携型起業家育成施設に常駐する支援人材の配置(2名)や入居企業等に対する賃料補助を行った。	【活動指標】	40	34	85%	●事業の成果 ・支援人材を配置することで、取引先の紹介や人材確保、展示会への出展アドバイスなど、入居企業へのきめ細かな支援を行った。成果指標については、新規入居者は3者となったが、事業計画・研究計画の変更及び契約満了に伴う退去者6者を下回った。
									入居企業のヒアリング実施件数（件）	40	52	130%	
									【成果指標】	20	16	80%	
									大学連携型起業家育成施設に入居し新たな事業活動を展開する企業等数（者）	20	13	65%	
取組項目 ii	○	7	H19-	21,189	11,871	787	—	新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	【活動指標】	40	34	85%	●事業の成果 ・支援人材を配置することで、取引先の紹介や人材確保、展示会への出展アドバイスなど、入居企業へのきめ細かな支援を行った。成果指標については、新規入居者は3者となったが、事業計画・研究計画の変更及び契約満了に伴う退去者6者を下回った。
									入居企業のヒアリング実施件数（件）	40	52	130%	
									【成果指標】	20	16	80%	
									大学連携型起業家育成施設に入居し新たな事業活動を展開する企業等数（者）	20	13	65%	
取組項目 ii	○	7	新産業推進課	—	—	—	—	大学等との連携により、新事業の創出や新商品の開発・新分野進出を目指す起業家や企業	【活動指標】	40	34	85%	●事業の成果 ・支援人材を配置することで、取引先の紹介や人材確保、展示会への出展アドバイスなど、入居企業へのきめ細かな支援を行った。成果指標については、新規入居者は3者となったが、事業計画・研究計画の変更及び契約満了に伴う退去者6者を下回った。
									入居企業のヒアリング実施件数（件）	40	52	130%	
									【成果指標】	20	16	80%	
									大学連携型起業家育成施設に入居し新たな事業活動を展開する企業等数（者）	20	13	65%	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県内におけるスタートアップ創出の支援	
●実績の検証及び解決すべき課題 交流拠点C0-DEJ IMAにおける起業相談や交流会等の実施に加え、首都圏等でのイベント等を通じた県外スタートアップの呼び込みにより県内でのスタートアップの集積数は総合計画を上回るペースで進んでいる。一方、県内スタートアップの拠点は、都市部へ集中しており、また、事業規模を拡大できる県内スタートアップの数も十分とは言えないため、成長支援にも取り組む必要がある。	●課題解決に向けた方向性 県内各地でのスタートアップの機運醸成を図る取組を進めるとともに、マッチング機会の提供による売上拡大支援等、事業規模の拡大に向けた支援にも取り組んでいく。
ii 県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致	
●実績の検証及び解決すべき課題 県外産業交流拠点との交流を通して県外スタートアップの誘致につながった事例や、本県出身の起業家が都市部での活動を経て本県に拠点を移した事例もあるため、本県での更なるスタートアップの集積には県外との連携を積極的に進める必要がある。	●課題解決に向けた方向性 県外産業交流拠点や投資家等と連携したプッシュ型の営業活動等により、県外スタートアップを呼び込むとともに、市町の支援策の活用や投資家等とのマッチングの機会を提供する等の支援により、本県へのスタートアップの集積を促進する。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i ii	○	1	創業・起業支援事業費	C0-DEJIMAにおいて、創業相談や交流会等の実施に加えて、創業後間もない事業者等が事業計画の策定やブランディングなど経営者に必要となる知識やスキルを体系的に学ぶプログラムを開講し、スタートアップの創出や成長を支援するための環境づくりを進める。	⑥	今年度のプログラム参加者へのヒアリング等を踏まえ、事業計画の策定やブランディング等のスキルをより効果的に習得できるよう、プログラム内容の改善等を検討するなど、引き続き、スタートアップの創出と成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成の取組を推進する。	改善
			R2-				
			新産業推進課				
	○	3	ミライ企業Nagasaki推進事業	R7新規	⑥	スタートアップの創出と成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成に努めるほか、今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ、県内外に向けて広く当イベントの成功事例等の情報を発信するなど、更なる改善策の検討を進める。	改善
			(R7新規)R7-9				
			新産業推進課				
取組項目 ii	○	6	スタートアップ首都圏チャレンジ事業	R7新規	⑥	今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ改善を検討し、首都圏スタートアップの本県への呼び込み及び県内スタートアップの首都圏大企業との取引拡大等支援のために効果的な取組を推進する。☑	改善
			(R7新規)R7-9				
			新産業推進課				
取組項目 i ii	○	7	大学連携新産業創造拠点整備事業	入居者企業の増加に向けて、様々なイベント等で本事業の周知に努め、PR活動を強化する。	⑤⑥	施設を運営している中小企業基盤整備機構、県及び長崎市の3者において、定期的に協議を行いながら、大学等との連携を深め、新たな事業活動を展開する企業等の増加に向けた取組を推進する。	改善
			H19-				
			新産業推進課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

- 【事業構築の視点】
- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
 - ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
 - ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
 - ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
 - ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 - ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
 - ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
 - ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
 - ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
 - ⑩ その他の視点